

南支部学術研修会（公衆衛生・免疫血清・臨床化学）報告

日時：平成30年7月28日（土）13:30～16:30

会場：東京都健康プラザハイジア 4階研修室 A + B

南支部学術研修会（公衆衛生・免疫血清・臨床化学）が開催されました。公衆衛生研究班からは、遠水技師が「検体の取り扱いにおける注意点と検査結果への影響」をテーマに、採血手技や検体処理時の注意点を、スライドを用いて詳細にご講演頂きました。臨床化学研究班からは、宮本技師が「臨床化学検査におけるピットフォール」をテーマに、各測定項目の測定原理から結果の変動要因について、現場に即した実践的な内容でご講演頂きました。免疫血清研究班からは、田中技師が「免疫血清検査の基礎、特徴と注意点」をテーマに、免疫血清検査におけるイムノアッセイの複雑な反応原理を、図を用いて分かりやすくご説明頂きました。台風が近づく悪天候の中での開催でしたが31名の方に参加して頂き、無事に研修会を終えることが出来ました。

参加者数	会員	非会員	合計
	29名	2名	31名

